

## 自立活動全体計画（抜粋）

### 1 自立活動の目標

個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

### 2 自立活動の内容

区分	項目	項目について
健康の保持	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活リズムの形成</li> <li>◆生活習慣の形成</li> <li>◆健康な生活習慣、環境の形成</li> </ul>
	(2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆病気の理解</li> <li>◆病気予防、改善のための自己管理</li> </ul>
	(3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆身体各部の状態理解</li> <li>◆病状部位の保護、症状進行の防止</li> </ul>
	(4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆障害の特性の理解</li> <li>◆生活環境を整えること</li> </ul>
	(5) 健康状態の維持・改善に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運動量の確保</li> <li>◆体力の向上</li> <li>◆健康維持のための自己管理</li> </ul>
心理的な安定	(1) 情緒の安定に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆不安感や緊張感の緩和</li> <li>◆安心感の形成、維持</li> <li>◆低刺激の環境での安定の維持</li> <li>◆気持ちの整理、安定</li> <li>◆活動の見通し</li> </ul>
	(2) 状況の理解と変化への対応に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆状況の変化への心構え</li> <li>◆状況の変化の受容</li> <li>◆状況の理解と適切な対応</li> </ul>
	(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習上又は生活上の困難の内容の理解</li> <li>◆学習上又は生活上の困難を解決する意欲</li> </ul>
人間関係の形成	(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆人への信頼感</li> <li>◆他者からの働きかけの受容</li> <li>◆他者への働きかけ</li> </ul>
	(2) 他者の意図や感情の理解に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆人の気持ちを察すること</li> <li>◆人の感情を理解し気を配ること</li> <li>◆相手の思いや感情の読み取り</li> <li>◆場に応じた適切な行動</li> </ul>
	(3) 自己の理解と行動の調整に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の得手不得手の理解</li> <li>◆自分の特性の理解</li> <li>◆集団の中での自己統制</li> <li>◆状況に応じた適切な行動</li> </ul>
	(4) 集団への参加の基礎に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆集団生活や社会のルールを理解</li> <li>◆集団生活や社会のルールの遵守</li> <li>◆集団活動への積極的な参加</li> </ul>

環境の把握	(1) 保有する感覚の活用に関する事 こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆視覚、聴覚、触覚などの感覚の活用</li> <li>◆保有する優位な感覚の効果的活用</li> </ul>
	(2) 感覚や認知の特性についての理 解と対応に関する事 こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆不快な音や感触などを自ら回避する手段</li> <li>◆位置関係や空間（立体感覚）等の体験的な学習</li> <li>◆不得意な課題を得意な方法で解決する</li> <li>◆空想と現実の切り替え</li> </ul>
	(3) 感覚の補助及び代行手段の活用 に関する事 こと	◆感覚の補助機器の活用
	(4) 感覚を総合的に活用した周囲の 状況についての把握と状況に応じ た行動に関する事 こと	◆感覚器官、補助機器、代行手段の総合的な活用による情報収集、的確な判断
	(5) 認知や行動の手掛かりとなる概 念の形成に関する事 こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ものの機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成</li> <li>◆日常生活の基礎となる概念の形成と活用</li> </ul>
身体の動き	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能 に関する事 こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の身体のイメージを養う</li> <li>◆姿勢の保持、粗大運動と微細運動</li> </ul>
	(2) 姿勢保持と運動・動作の補助的 手段の活用に関する事 こと	◆姿勢保持や運動・動作の補助用具や補助的手段の活用
	(3) 日常生活に必要な基本動作に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日常生活や作業に必要な基本動作や姿勢の習得、維持</li> <li>◆目と手の協応動作</li> <li>◆手指の巧緻性、協応性</li> </ul>
	(4) 身体の移動能力に関する事 こと	◆日常生活や作業に必要な移動能力の向上
	(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行 に関する事 こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆作業に必要な基本動作の習得</li> <li>◆作業に必要な動作の巧緻性と持続性の向上</li> <li>◆作業を円滑に遂行する能力の向上</li> </ul>
コミュニケーション	(1) コミュニケーションの基礎的能 力に関する事 こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆人への興味・関心、信頼関係の形成</li> <li>◆意志や要求の伝達、やりとり</li> <li>◆話を聞く態度の形成</li> </ul>
	(2) 言語の受容と表出に関する事 こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆言葉による意志や要求の伝達、やりとり</li> <li>◆文字や記号など視覚的な手掛かりによる意志や要求の伝達、やりとり</li> </ul>
	(3) 言語の形成と活用に関する事 こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆言語概念の形成</li> <li>◆日常生活に必要な会話能力の形成</li> </ul>
	(4) コミュニケーション手段の選択 と活用に関する事 こと	◆コミュニケーションの補助的手段の活用（文字、筆談、記号、機器等）
	(5) 状況に応じたコミュニケーション に関する事 こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆場面や状況、相手の立場や気持ちなどに応じた適切な言葉遣いや態度の形成</li> <li>◆誰とでもコミュニケーションできる力</li> <li>◆必要なときに必要なことを尋ねる態度</li> <li>◆コミュニケーションを円滑に行う力</li> </ul>